

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●大阪杯はスワーヴリチャードが優勝

4月1日(日)に行われた大阪杯(G I)ではスワーヴリチャード(牡4歳/栗東・庄野靖志厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。庄野調教師にとっても初のJRA・G I制覇となりました。

### ●西村淳也騎手がJRA初勝利をあげる

3月31日(土)の2回阪神3日・第6レースではティーブラッサムが1着となり、同馬に騎乗した西村淳也騎手(栗東・田所秀孝厩舎)はJRA初勝利をあげました。3月3日(土)のデビューから数えて31戦目での初勝利となります。

### ●中井裕二騎手がJRA通算100勝を達成

4月1日(日)の2回阪神4日・第3レースではウォーターロレンスが1着となり、同馬に騎乗した中井裕二騎手(栗東・フリー)は、現役88人目となるJRA通算100勝(2295戦目)を達成しました。

### ●木幡初広騎手と二本柳壮騎手が引退

木幡初広騎手(美浦・杉浦宏昭厩舎/JRA通算1万2879戦784勝)と二本柳壮騎手(美浦・フリー/JRA通算5604戦252勝)は、3月31日(土)をもって騎手を引退しました。木幡騎手は杉浦宏昭厩舎(美浦)、二本柳騎手は萩原清厩舎(美浦)で、いずれも調教助手となる予定です。

### ●ベルーフとグッドスカイの競走馬登録抹消

2015年京成杯(G III)の勝ち馬ベルーフ(牡6歳/栗東・池江泰寿厩舎)は、3月24日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は26戦3勝で、今後は岡山県加賀郡の岡山乗馬倶楽部で乗馬となる予定です。2017年新潟ジャンプS(J・G III)の勝ち馬グッドスカイ(牝5歳/栗東・松元茂樹厩舎)は、4月7日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は18戦3勝で、今後は北海道新冠町の小泉牧場で繁殖馬となる予定です。

**訂正** 先週の「中央競馬ニュース」(「高松宮記念はファインニードルがG I初制覇」)の記事内容について、正しくは、「ファインニードルの馬主はゴドルフィン(仮定名称。馬主登録はH. H. シェイク・モハマド)であり、1995年安田記念(ハートレイク)を制したゴドルフィンとは同一馬主ではありません」ので、訂正してお詫びいたします。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●北海道のリウノユキナがアーリントンCに登録

アーリントンC(G III、4月14日、阪神、NHKマイルCの出走資格獲得は3着以内、安田記念の出走資格獲得は2着以内)に、リウノユキナ(北海道)が登録しました。芝1200mのオープン特別を勝っていますが、1600mのG IIIでは分が悪そうです。

### ●サムライドライブが無傷の9連勝【各地の主要3歳重賞】

中京ベガスターC(3月28日、名古屋、1600m)は、逃げた単勝元返して圧倒的人気のサムライドライブ(牝、父シニスターミニスター)が馬なりのまま4馬身差の楽勝を収め、重賞6連勝、デビュー以来の連勝を9に伸ばしました。あやめ賞(4月1日、水沢、1400m、牝馬)は、2番手から4コーナーで先頭に立った北海道からの移籍馬スターギア(父サウスヴィグラス)が後続を6馬身引き離し、単勝1.8倍の支持にんでいます。

### ●クイーンマンボが戦列復帰、4月11日のマリーンC(船橋)

マリーンC(Jpn III、4月11日、船橋、1600m)は、半年の休養明けに加え1800m未満未経験であるがクイーンマンボが中心、同じ57kgのアンジュデジュールが続き、以下ミッシングリンク、ヤマニアンプリメまでが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ドバイワールドCデー開催～日本馬の勝利はならず

3月31日にUAE・ドバイのメイダン競馬場でドバイワールドCデー開催が行われました。日本からは史上最多となる14頭が参戦しましたが、G Iドバイターフ(芝1800m)に出走したヴィプロスの2着が最高着順。残念ながら勝利を収めることはできませんでした。そのG Iドバイターフを制したのは地元ゴドルフィンのペンバトル(牡4歳、父ドバウイ、S.ピン・スルール厩舎)。リアルスティールとディアドラも3着(同着)と健闘しました。なお、この日のメインレースであるG IドバイワールドC(ダート2000m)は、ペンバトルと同じくゴドルフィンが所有し、ピン・スルール調教師が管理するサンダースノー(牡4歳、父ヘルメット)がコースレコード(2分01秒38)での逃げ切り勝ち。鞍上のC.スミヨン騎手はこのレース初制覇となり、ピン・スルール調教師は8勝目をあげました。ゴドルフィンは、このほかにもC.アップルビー厩舎に所属するホークビル(牡5歳、父キトゥンズジョイ)とジャングルキャット(牡6歳、父イフラージ)でそれぞれG Iドバイシーマクラシック(芝2410m)、とG Iアルクオーツプリント(芝1200m)に優勝。1日でG I・4勝の大活躍でした。